

地方創生 新九州宣言

世界に先行して日本が直面する少子高齢化・人口減少という構造的課題に対して、国と地方は、現在、総力を挙げて地方創生の取組を進めている。

しかしながら、我が国の人口減少の大きな流れに歯止めはかからず、このまま推移すれば、将来の経済や社会に深刻な影響を与えることが予測され、今後、その強い危機感と覚悟をもって行動していく必要がある。

他方、世界はグローバル化の変化の中で、ヒトやモノ、情報、サービス、資金などが、国境や地域を越えて自由に行き交う時代となった。特に、技術革新の面では、IoTやAI、5Gなどの先端技術が世の中の有りようまで変えようとしている。

我々は、これを積極的に捉え、取り込み、地方創生に活かす必要がある。

地方創生は、地域に暮らす人々や生まれてくる子どもたちが、夢と希望を持って、いきいきと暮らせる社会の実現に向けた取組である。

九州・山口地域では、合計特殊出生率や圏域内に人口がとどまる割合が全国でも特に高く、世界の成長センターであるアジアに近接する地理的な優位性などの強みを有しているが、現状は、その特性を十分に活かし切れていない。

我々は今後、九州・山口地域が持つ強みやポテンシャル、豊富な人材等の資源を存分に活かし、日本の創生をこの地から先導し、加速する決意をもって、次のような点について、相互に連携させつつ、総合的に官民一体となって取り組むことを、ここに宣言する。

- 1 魅力的な仕事づくりや、誰もが働きやすい職場環境づくり
- 2 新産業の創出、地域課題の解決に向けた新技術の活用・挑戦
- 3 若者、女性、外国人、高齢者、障がい者など、多様な人材が活躍できる社会づくり
- 4 若者が結婚や子育てに希望を持ち、安心して子どもを産み育てやすい環境づくりと、未来に繋がる子どもの育成
- 5 地域の魅力を発信し、移住や訪問先として選ばれる地域づくり
- 6 安心・安全な暮らしを守る社会システムの構築、自然災害の激甚化に備えた防災・減災対策

令和元年11月6日

九州地域戦略会議 共同議長 広瀬 勝貞
共同議長 麻生 泰